

地域を良くしたい
熱い思いでまちを活性化

司会 お二人はそれぞれお住まいの地域で、まちを華やかに彩り、新たなにぎわいを生み出す活動をされていますね。
高市 子育てをしながら友人と作るフリーペーパー「おちあいさんぽ」での取材をきっかけに、「染の小道」に出会いました。私自身、着物が好きなことに加え、まちを染め物で彩るといふ企画の素晴らしさに魅了され、お手伝いするようにになりました。
司会 落合・中井地域は、妙正寺川沿いに広がる染色のまちとして知られていますね。
高市 はい。染色業に携わる皆さんと地域の商店街をつなぎ、住民も加わりながら染色の魅力発信しているという

誰もが輝き にぎわいが生まれるまちに



新宿の魅力発信する活動を続け、「誰もがもっと楽しく暮らしやすいまちにしたい」との思いを胸に、地域で活躍する女性お二人に伺いました。

国内外に情報発信
新宿の多様な魅力をPR

司会 2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催され、新宿も大勢の外国人をお迎えします。そこで、新宿の魅力をもっと発信し、さらにより良いまちにしたいですね。
高市 2013年に「染の小道」で外国人の方への着付け教室を開いたところ、とても好評でした。また、ある工房で染色の体験をした方は、海外では見られない光景に感激していました。「染の小道」では、「こんな企画を実現したい」という強い思いがあれば、個人のアイデアを積極的に採用しています。新宿の魅力は多様なので、一律

の「染の小道」の活動です。5年前、実行委員会の発足当初は、染色の業者、商店街、地域住民と三者三様の思いがぶつかり合っていました。議論を重ねる中で絆も深まってきました。イベント当日、川に架かった反物や店先の「のれん」を見ると、その美しい光景に毎回感動します。
藤澤 私は結婚を機に歌舞伎町に住むようになり、職場も歌舞伎町です。以前から、歌舞伎町の3K(暗い・怖い・汚い)のイメージを変えたいと考えていましたが、中山弘子前区長が「歌舞伎町ルネッサンス」を提唱し、歌舞伎町再生の機運が高まっていると感じ、2006年から区役所通りのイルミネーションを企画しています。地域の有志で寄付を集めながら活動を始め、初めてイ



藤澤 薫さん
歌舞伎町区役所通りイルミネーションの象徴です。お二人は今後の活動をどのように考えていますか。
高市 落合・中井のまち全体が産業観光地として国内外に評価され、経済も回っていき、良いと思っています。本当に夢のような話ですが、「和紙」がユネスコの無形文化遺産に登録されたように、新宿の染色も登録されれば、子どもが「このまちはずい」と感じたときに、「お母さんもお手伝いしたの

何かを発信するだけではなく、個人のアイデアをつないで大きな輪にしていくのも良いのではないのでしょうか。
藤澤 本日に新宿は多様性があります。新宿駅西口はオフィス街、東口はショッピング街に歓楽街もある。さらにその先には住宅地が広がっています。
司会 歴史も深く、文化資源にも恵まれていますね。歌舞伎町にも思っていますね。

左から吉住区長 藤澤さん、高市さん、司会の渡辺一宏さん、新宿区広報番組MC

ルミネーションが点灯したときは本当に感激しました。
司会 イルミネーションは冬の歌舞伎町の象徴です。
藤澤 歌舞伎町を「明るく・安心・歩きやすい」3Aのまちにしようとして、「NPO法人新宿歌舞伎町区役所通り3Aの会」を2007年に立ち上げ、活動を続けています。歌舞伎町で働く方、そして住民の皆さんの多大な協力で、これまで大きな事故もなく続けてこられました。
区長 お二人の活動は「継続は力なり」を実証しています。手を取って携わっている皆さんが手を抜かないこと、そして、周囲の期待を裏切らなかつたことが、大きな実を結んでいると感じます。



共に活動し盛り上げる
男女それぞれが輝く社会

司会 藤澤さんはこうした地域活動のほか、新宿区の男女共同参画推進会議の委員を務めるなど、女性が活躍できる社会づくりにも携わっていますね。
藤澤 はい。まだまだ、固定的な性別による役割分担の意識が社会に残っていると感じています。男女それぞれに良いこと

誰もが誇れる新宿
さらなるまちの発展に

は海外にも知名度が高いまちです。このネームバリューを活用して、「楽しいまち」を皆でアピールし、「歌舞伎町は怖い」というイメージを払拭したいですね。イルミネーションも次回は10回目になるので、より盛大にして、より明るい歌舞伎町をアピールしたいと思っています。
区長 外国人観光客が増加する中、訪問先として全国で最も多いのは新宿です。多くの来訪者が新宿の多様な魅力を感じ、楽しくまち歩きができるように、区では2020年を一つの目標として、無料WiFiなどを含め、情報発信の機能を充実していきます。そして、オリンピック・パラリンピック以降も国内外を問わず、大勢の方に来ていただけるよう、何度でも訪れたい新宿を目指して、ユニバーサルデザインのまちづくり等に積極的に取り組んでいきます。

ろがあるし、お互いをもっと理解して受け入れる、多様性を認め合う社会づくりが必要だと思います。
区長 あらゆる分野で性別による隔たりはなくなっていく必要がありそうですね。区としても、男女それぞれが輝き、誰もが才能を発揮できるように取り組みを進めています。
藤澤 仕事も地域活動も、男女が共に参画して盛り上げていくことが大切だと感じます。結婚や出産を機に、仕事を辞めざるを得ない女性もいるし、保育園に子どもを預けて共働きで頑張っている家庭もあります。女性が安心して仕事を続けられる環境づくりは重要な課題ではないでしょうか。
高市 私は仕事を辞めて子育てをしています。孤立しないようにと友人とフリーペーパーを作り始めました。子育てで孤立しそうなときに自分の居場所があることも、大切だと思います。



よ」って自信を持って言えたらいいなと思います。「子どもたちが大人になっても自慢できるまちにしたい」、そんな夢を持っていきます。
区長 新宿は歴史的にも地理的にも文化を発信できる土壌を持つていると思います。日本を支えるものづくりが新宿でも継続し、さらに発展するように、応援していきたいですね。
藤澤 私は歌舞伎町が楽しくてにぎやかなまち、そして安全で安心に過ごせるまちであってほしいので、これからもまちづくりに協力していきたいです。これまでお世話になった新宿のまちへの感謝を込めて、社会貢献をしていくつもりです。

区長 大変心強いですね。お二人のお話を伺って、わがまちを良くしていくという強い思いを持って、周囲の方との協力関係を深めていると感じます。新宿が持続的に発展していくためには、区もさまざまなニーズに応じて改善していくことが必要です。次世代の育成にも力を入れて、子どもたちも新宿のまちに愛着と誇りを持ち続けられる環境をつくっていきたいと思います。

2月27日(金)・28日(土)、3月1日(日)の3日間!

染の小道2015

地場産業として受け継がれる新宿の染色業をPRする「染の小道」。色とりどりの反物が妙正寺川の上に架けられ、染め物を水洗いする光景が川の上から見られる昭和初期の記憶を現在に伝えます。中井駅周辺の商店街もカラフルな「のれん」で彩られ、まち全体が染め物で埋め尽くされます。

新春対談の
ゲスト

高市 洋子さん (落合在住)

「染の小道」の運営に初期から参加。活動を一時中断していたが、染色の魅力を広めたい思いから復帰し、今年度は実行委員会の代表を務める。地域情報を発信するフリーペーパー「おちあいさんぽ」の編集にも携わる。



2月28日(土)まで 毎日午後4時30分~午前3時に点灯 新宿歌舞伎町区役所通りイルミネーション

歌舞伎町を誰もが安心して楽しめるまちに再生する「歌舞伎町ルネッサンス」の一環として開催し、今回で9回目を迎えました。約12万個のLEDが、区役所通りを華やかに演出しています。「ワイングラス」をイメージした真っ白なイルミネーションは、歌舞伎町の冬の風物詩になっています。

新春対談の
ゲスト

藤澤 薫さん (歌舞伎町在住)

歌舞伎町を「明るく・安心・歩きやすい(3A)」まちに変えたい思いから、イルミネーションを企画。新宿区女性会副会部会長、東京商工会議所女性会副会長を務め、新宿区男女共同参画推進会議の委員としても活動している。

